



公民館報 こもろ

No.904

令和7年 6月号

発行 / 小諸市公民館
編集 / 館報編集委員会
〒384-0801 長野県小諸市甲 1275-2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

氷区にある風穴周辺に自生する植物が4月上旬に見頃を迎えました。小諸市の指定保護動植物であるハヤザキヒョウタンボクのほかにも足元には珍しい山野草がかわいらしく咲いていました。



キバナノアマナ



アズマイチゲ



ヤマエンゴサク



カタクリ



ウスバサイシン



ハヤザキヒョウタンボク

◆内容

- p.21 令和7年度小諸市公民館基本運営方針
令和7年度公民館報編集委員の紹介
p.22 「みんなの宝物」(大久保区 依田好男さん)ほか

- p.23 春の交通安全運動 ほか
p.24 「教えて! あなたのサークル」
(プリンセスタイム / 緑のパソコン教室)
公民館7月開講講座
p.25 「ぼくとわたしの作品」(東小学校)ほか



カラー版はこちら

6月は俳句の世界において、夏本番を意味する「仲夏」と呼ばれています。実際の季節としては初夏のイメージが強い6月ですが、暦の上では夏の中盤にあたります。また、関東甲信地方でも6月上旬には梅雨が始まり、7月の下旬あたりまでは雨の多い日が続きます。私は、雨上がりの草や木々からの独特のにおい「大地の匂い(ゲオスミン)」は嫌いではありません。梅雨の時期は、湿度が高く気温も低い日が多いため、体調管理(熱中症や夏風邪など)や食中毒に十分な注意が必要で「こまめに掃除機をかける」「布団を干す」「湿度の高い状態を作らないように換気をする」等の対策も必要です。

湿度が高うつとうい季節ですが、アイリス・あじさい・レンゲツツジ等々、見頃を迎える花々が咲き、各地で様々なイベントも実施されます。雨の上がつた晴れ間、初夏の清々しい空を感じながらハイキングやトレッキングで気分転換することをおすすめします。

編集委員 荻原政寿



令和7年度

小諸市公民館基本運営方針

学びを通して人づくり・地域づくりを

人口減少や少子高齢化による人口構造の変化、生活様式の変化や価値観の多様化等を背景に、地域は様々な課題に直面し、住民自治の担い手不足や連帯感の希薄化が指摘されています。さらに、グローバル化や情報化の進展により予測困難な時代となりつつある中、一人ひとりが課題に主体的に向き合い学びを通して多様な他者と連携・協働していくことが求められています。

また、小諸市総合計画第12次基本計画では、施策1-3の目標のひとつとして「市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態」を掲げ、「魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の企画を創出する」ことを方針としています。近年、小諸市公民館の利用者は高齢化、固定化、また減少傾向にあるため、幅広い利用者を増やすための創意工夫が重要となっています。

さらに、公民館には総合的な地域づくりの拠点として地域社会の人間関係を深める重要な役割があり、地域社会の健全な発展のために必要で、そこで行われる多様性のある柔軟な活動は欠かすことができないものです。将来に向け、公民館に期待されていることや役割を再認識し、これからの公民館のあり方を探っていくことが必要です。

公民館活動の一層の振興に努め、生涯学習の進展に寄与するため、昨年度に引き続き「学びを通して人づくり・地域づくり」のテーマのもと、次の3点を令和7年度の運営の柱とします。

●生活課題・地域課題に関わる学習と実践に向けた支援
人々がつながり生きがいをもって暮らし続けるための学習の支援

●住民の意識を捉え、期待に応えるための支館・分館との連携

また、以下を重点活動として位置付けます。

- ①住民の公民館に対する意向を把握し公民館活動への反映を図る。
- ②社会情勢の変化等を見据え、これからの公民館のあり方について検討を進める。
- ③他機関・団体等との連携に努め、多様な方々との協力・協働による取り組みを進める。
- ④青少年向け講座など幅広い年齢層や、多様な市民を対象とした事業を実施するとともに、住民の主体的な学習に対する支援の充実を図る。
- ⑤支館のあり方を検討するとともに、分館の実情を把握し支援の充実を図る。



令和6年度開催「夏休み1日遊学体験講座」より

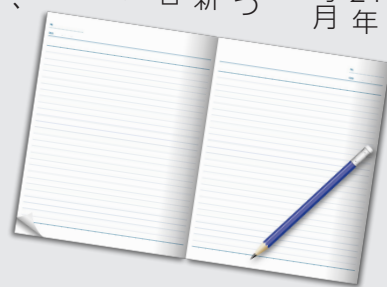
令和7年度

公民館報編集委員の紹介

「公民館報こもろ」は、昭和24年（1949年）に創刊され、以来毎月発行、本誌で904号を数えます。

公民館報は、各支館から1名ずつ推薦されている7名と今年度から新たに1名の公募委員を加えた計8名の「公民館報編集委員」により、取材・執筆・編集・校正が行われます。毎月2回開催される編集委員会では、アイデアと知恵を出し合っており、良い紙面づくりに余念がありません。公民館報を通して、市民の皆様が地域の情報を発信し、文化伝統の継承と発展に繋げることができるよう努めて参ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

は、アイデアと知恵を出し合っており、良い紙面づくりに余念がありません。公民館報を通して、市民の皆様が地域の情報を発信し、文化伝統の継承と発展に繋げることができるよう努めて参ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。



撮影日：5/1



前列右から

後列右から

- 【中央支館】市川 強
- 【西小諸支館】荻原 政寿
- 【大里支館】白鳥 聖一
- 【公募】中山 正男
- 【川辺支館】山浦 大地
- 【三岡支館】高見澤翔吾
- 【北大井支館】中村完二郎
- ※当日に不在
- 【南大井支館】小林 隆志

みんなの宝物



「3区共有林と2区共有林を守って」

大久保区会計

依田 好男

大久保区と氷区で2区、大久保、氷、鍋久保区で3区を形成して、それぞれ別の共有林を有しています。

毎年、青葉茂る前の3月最終日曜日に作業を行っています。

なぜ共有林を持っているのか理由は良くわかりませんが、昔は山林を持っていることが重要だったのでしょうか。

私も山林を保有していましたが、祖父の健在だった頃、牛車で山から材木を切り出して建てた小屋が、我が家の敷地内に現在もあります。明治か



ら大正時代は山の材木は宝物だったに違いありません。

今年から区の役員を引き受けて、始めて共有林の境界の確認作業があることを知りました。歴代の区長・副区長・会計がこの作業に加わりますが、毎年境界を歩いて目印を更新していかなければ、忘れ去られてしまいます。共有林だからこそ、確認作業を毎年することが大事なかもしれません。そして事務局を担当することとなり、測量などの目印に使われているピンクのリボン



テープ（1個50m巻き）を購入し、1mに切り分け、10本1束にして当日参加予定者6名に30本ずつ持っていただくよう準備をしました。

当日の3月30日(日)は天気も良く、午前中は氷・大久保の2区共通林の境界作業です。目印の立ち木に、縛つてあるテープが劣化していたら新しいテープを巻いていきます。5〜10m位の間隔でテープが付いて



いるので、それを目安に山を巡ります。

午後は3区共有林も同様に作業をしますが、3区共有林は面積が広く4万5千㎡もありますので、2班に分けて作業をしました。山には倒木がありそれを乗り越え、野ばらと悪戦苦闘しながら次のテープが巻いてある立ち木を探して歩き回ること2時間。歩くだけでも体力は消耗しますが、山の急斜面を登ったり下ったり大変な作業でした。終了後、山にある祠ほこらに無事に作業ができたお礼をして解散となりました。



この山林がいつの日にか必要とされる時まで、来年も再来年も、延々とこの作業を次世代に引き継ぎますが、材木や土地が有効に利用できることを望みます。

第46回「小山敬三美術館友の会 着衣人物写生会」

- 日時 第1日目 6/8(日) 受付開始 8:45～(16:00頃終了)
第2日目 6/22(日) 受付開始 8:45～(16:30頃終了)
- 会場 小諸市文化センター 第一講義室、軽運動室
- 指導者 白鳥 純司
- 持ち物 イーゼル、画材用具一式、昼食、飲み物
※油絵、水彩画、デッサン etc 画材道具は自由です。
- 問合先 小山敬三美術館 0267-22-3428



春の全国交通安全運動

長野県の横断歩道の一時停止率が連続1位！ 歩行者や旅行者にも「やさしい運転」を

編集委員 中村 完二郎

交通安全協会による春の全国交通安全運動が4月6日(日)から実施されました。スローガンは「信濃路はみんなの笑顔つなぐ道」です。

初日は小諸警察署入口に交通指導所を設け、ドライバークの皆さんへ啓発チラシを配布するほか、期間中は街頭指導やパトロールなど各地区でさまざまな活動が実施され、4月15日(火)まで交通安全を呼びかける作戦が行われました。今回の運動の重点項目には以下の4点が掲げられています。



小諸警察署での交通指導開始



国道沿いでの呼びかけ

- (1) こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- (2) 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- (3) 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底
- (4) 高齢者の交通事故防止

初日に挨拶された小諸警察署長のお話では、小諸市では交通事故撲滅に向けた取り組みを進めている中で、昨年度の交通事故の発生率が前年の1割減と減少傾向となっている一方で、地域の皆さんの意識が良い結果に繋がっているものと思われまふ。

ところで皆さんは「信号機のない横断歩道での車の一時停止率」の全国調査で、9年連続で長野県がダントツ1位というところをご存知でしょうか。

長野県の停止率が高い理由としては「伝統」となっている、

子どものころからの交通安全教育の影響が挙げられます。横断歩道を渡る際、歩行者が手をあげて意思表示

信号機のない横断歩道 車の一時停止率 (2024年JAF調べ)		
1位	長野県	87.0%
2位	石川県	80.9%
3位	岐阜県	75.2%
4位	熊本県	74.8%
5位	福岡県	74.3%
全国平均 53.0%		



荒堀交差点でPTAと見守り隊での街頭指導

するのはもちろん、止まってくれた車へのアイコンタクトやお辞儀が奨励されています。渡った後、車の方へくると向きを変えてお辞儀する児童や学生を何度か見たことがあります。いつもほのぼのとした気持ちにさせてくれます。

また、小諸は北国街道の宿場町として、生活道路に観光客が街歩きをしている風景が見られる土地柄でもあり、ドライバークのみなさんが自然と安全意識を高く保てる環境でもあるのかなと感じています。

これから皆さんには児童や高齢者への安全環境確保をお願いしたいのと、年間を通して訪れる大勢の観光客への気遣いや優しさにも注目したいと思います。

第17回 こもろ日盛俳句祭

- 日程 7/25(金)～27(日)【主会場・講演会】ベルウィンこもろ【シンポジウム】市民交流センター ステラホール
- 内容 吟行【午前】…市内、郊外、高峰高原(要事前予約)
句会【午後】…ベルウィンこもろ、高峰高原、市民交流センター、海應院、小諸高濱虚子記念館、小諸高原美術館
【講演会】7/25(金)16:00～講師:井上泰至氏 演題「俳句の氣息-小諸高濱虚子記念館蔵句屏風から」
【シンポジウム】7/26(土)16:00～テーマ(未定)
- 参加費 一人1日券2,500円(当日申込みは3,000円)※高峰高原吟行句会は別途3,000円(昼食・バス代)
- 締切 7/11(金)必着 ※高峰高原吟行句会は6/20(金)。但し、先着順で定員になり次第終了となります。
- 問合せ・申込先 小諸高濱虚子記念館 ☎0267-26-3010 ※水曜定休

教えて！あなたのサークル

プリンセスタイム（ピラティス）

代表 柳澤 美智子



窓に映った自分の姿に「このおばさん？」だから美しい姿勢を作りたい！階段を上るのが辛くて鍛えたい！そんな理由でピラティスを始めました。ピラティスはケガをした人のリハビリのために考案されたエクササイズ。体の奥にあるインナーマッスルを鍛え、姿勢を改善、体全体のバランスを整え健康的でしなやかな体を作ります。またアロマとハーブを取り入れて「ピラティスの後のリラックス」も体験しています。「体も心もしなやかに！」それが私たちの願いです。

一緒に経験しませんか？ 見学・お試しも歓迎です。月4回火曜日午前中に活動しています。

緑のパソコン教室

代表 小山内 玲子

緑のパソコン教室は発足して14年目を迎えました。講師の小林高治先生にご指導をいただき、現在13名の会員で相互の親睦を目的とした、優しく楽しい時間を過ごしています。

パソコンの基本アプリ、ワード、エクセルを勉強し、インターネット、デジタルカメラ等も取り入れてより活用範囲を広げています。

回を重ね、月日が過ぎて、ある方は小さな旅の写真と音楽をコラボし、スライドショーを作ってラインで流しています。パンや料理教室のレシピを作る方、娘の結婚式のDMや式場のディスプレイグッズを作成した方、家計簿、健康管理のためにエクセルを学ぶ方、会のために新しいパソコン導入の要請書を作ってくれた方もいて、皆さんそれぞれ個性を発揮されています。

退会された方、入会していただいた方、色々あって、今私が1番の年長者になりました。

小林先生、会員の皆さんに心から感謝いたします。



公民館7月開講講座

申込みは、窓口、電話（9:00～17:00）またはながの電子申請（小諸市HP）。申込み多数の場合は、初めての方を優先し、公民館にて抽選します。また、申込みが少ない場合などは、中止や変更になることがあります。託児希望の場合はご相談ください。

問小諸市文化センター TEL 0267-23-8880



シニアのためのスマホ教室

初心者向け・防犯対策

講師：KDDI（株） 認定講師

◇日時 7/4（金） 13:30～15:30

◇場所 第一講義室 ◇費用 無料

◇定員 20名

◇持ち物 筆記用具

◆申込 5/27（火）～6/10（火）

※スマートフォンを一人一台貸し出します。



初めて作るシャドーボックス

ペーパークラフトで幸せふくろうを作ろう！【全2回】

講師：シャドーボックス講師 佐藤 千月 さん

◇日時 7/8、29（火） 10:00～12:00

◇場所 陶芸木工室

◇費用 1,500円

◇定員 15名

◆申込 5/28（水）～6/11（水）



市民ハイキング

ヤナギラン等の山野草が咲き誇る八千穂高原自然園や花木園を自然の息吹を感じながら散策しましょう。



講師：長野県自然観察インストラクター 柴平 志保子 さん

◇日時 7/15（火） 小雨決行

【出発】9:00 【帰着】15:30（予定）

◇集合 小諸市文化センター第2駐車場

◇費用 八千穂高原自然園等入園料 350円（予定）

◇定員 20名

◇持ち物 昼食・飲み物・雨具・タオル

◆申込 5/30（金）～6/13（金）



「かんきょうにいい南部鉄器」

5年3組 まつだ ことは 松田 琴羽

私が南部鉄器を調べようと思った理由は、家に南部鉄器があったので調べました。

工夫したところは、できるかぎり自分の言葉でかこうと思いました。他には読んだ人が分かりやすいようにまとめました。タイトルも内容とあったタイトルにしました。

南部鉄器を調べて、かんきょうにいいこと、長く使えるということが分かりました。南部鉄器のことは分かったので、今度は他の工芸品のことを調べたいです。とくに、長野県の工芸品や有名な工芸品も調べたいです。

「きれいなもようの箱根寄木細工」

5年3組 てみず こはる 手水 小陽

私が箱根寄木細工を調べようと思った理由は国語の教科書にのっていて「どのように使うのかな」と思い調べはじめました。

工夫したところは、みんなが目につきやすいように文字の大きさを考えながら書いたことです。みんなに見てほしいところを大きい文字で書きました。

私は箱根寄木細工を調べたことで昔の工芸品にどんな物があるかが知ることができました。もっと箱根寄木細工のことを調べてみたいです。



「わたしのまど」

5年2組 しおかわ ゆうり 塩川 侑莉

私は、春夏秋冬の4つの季節を一つのまどで見ることのできる作品を作りました。

まず春は、さくらのきれいな季節なのでさくらの木をイメージして作りました。次に夏は、きれいなみどり色の木を表現するために、葉っぱも再現しました。秋は、もみじやイチョウ、紅葉などの時季なので、全体的に、オレンジや黄色をたくさん使いました。冬は雪がふるので、雪と雪だるまを作りました。この作品では、左上に春、右上に夏、左下に秋、右下に冬を表現しました。一番工夫したところは、冬の雪を再現するために、紙をぐしゃぐしゃにしてからはりました。

そしてなによりのこだわりは、春が好きな人、夏が好きな人、秋が好きな人、冬が好きな人、春夏秋冬それぞれ好きな人がいます。だから私は、一つのまどで、春夏秋冬すべて、見ることができればそれぞれの好きな景色を見ることができると思ってこの作品を作りました。



6/3(火)
施設予約開始

施設名	利用月	施設名	利用月	施設名	利用月
公民館 (乙女湖体育館を除く)	R 7/ 8	乙女湖体育館	R 7/ 9※	文化会館	R 8/ 6

※ 統合に伴い、乙女湖体育館の予約は、令和7年9月分までとなります。

